

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載
(配付申請時は記載不要)

【様式1】

令和2年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額 円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
<input type="text" value="350,000"/>	+	<input type="text" value="6学級"/>	+	<input type="text" value="2学級"/>	×	<input type="text" value="30,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="590,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

・令和2年度末の生徒アンケートにおける「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」、「人権や平和・いのちについて考え、それらを守っていくことの大切さを学んだ」、「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。
・校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
・新体力テストを実施し、昨年度の体力合計点を維持・向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

・人権に関する取り組みに組織的・系統的に取り組む、人権総合学習の充実を図る。【安心・安全の取組⑥】
・自己の役割と責任を自覚させ、相手を思いやり優しい心で行動する態度を育成する。【安心・安全の取組⑦】
・キャリア教育を通じた勤労・職業観を育成と、自尊感情の高揚。【安心・安全の取組⑧】
・多文化共生社会の中で生きぬく力を育成する。【安心・安全の取組⑩】
・「主体的・対話的な学び」を推進を図る【学力・体力の取組⑧】
・子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実を図る【学力・体力の取組⑩】

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

・生徒アンケートで「人権や平和・いのちについて考え、それらを守っていくことの大切さを学んだ」について肯定的な回答を90%以上とする。
・生徒アンケートで「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」や「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」について肯定的な回答を90%以上とする。
・生徒アンケートで「職業について興味を持ち、自分の将来について考える」について肯定的な回答を85%以上とする。
・生徒アンケートで「外国につながる友を思いやれることができる」について肯定的な回答を90%以上とする。
・グループ学習や班学習、ジグソー法などの手法を授業で積極的に取り入れ、生徒が発表、報告、話し合いする機会を多くつくる。
・生徒アンケートで、「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
・電子黒板、タブレット端末等のICT機器を活用した授業を計画的に行い、授業アンケートで、「ICT機器が活用されている」に対して、肯定的に解答する生徒の割合を70%以上にする。
・昼休みのボール貸出を実施し、運動上での活動を活性化させる。
・各学年において、球技大会などのスポーツ活動を年2回行う。

指標に対する達成状況(取組完了時)	達成
-------------------	----

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

1学級あたりの予算が減額となったため、基本枠ではどうしても必要なものを計上している。子どもの家庭事情が背景にある中での学力向上を考えると、学校の安心・安全と校内の環境整備、教員の授業力向上が必要であり、環境整備では、ブロック化による学校支援事業を使って教室のICT環境整備を実施し、教員研修を通じてICT機器を適切に活用し、個の状況に応じた学習での基礎の定着と、主体的・対話的で深い学びの推進から子ども達が自ら学びに向かうように、継続したこれまでの取り組みと新しい取り組みが必要である。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道德心・社会性の育成】(安心・安全⑥) ・校外体験学習の実施	事務局使用欄	達成
①予算内訳 08-05 1年校外学習(ピースおおさか)下見教職員交通費 @360×2名= 720円 08-05 1年校外学習(ピースおおさか)付添教職員交通費 @250×8名= 2,000円 11-01 1年校外学習(ピースおおさか)生徒交通費 @180×70名=12,600円 合計15,320円		
②決算内訳		
(2)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道德心・社会性の育成】(安心・安全⑦) ・校外体験学習の実施	事務局使用欄	達成
①予算内訳 08-05 2年校外学習(大阪市内班別行動)下見教職員交通費 @800×2名= 1,600円 08-05 2年校外学習(大阪市内班別行動)付添教職員交通費 @800×7名= 5,600円 11-01 2年校外学習(大阪市内班別行動)生徒交通費 @800×70名=56,000円 合計63,200円		
②決算内訳		
(3)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道德心・社会性の育成】(安心・安全⑧) ・職業講話の実施	事務局使用欄	達成
①予算内訳 07-01 1年生職業講話講師謝礼 @7,100×1名=7,100円 @6,200×1名=6,200円 合計13,300円		
②決算内訳		

(4)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】(安心・安全⑩) ・国際理解教育の実施	事務局使用欄	達成
①予算内訳 07-01 国際理解学習講話講師謝礼 @3,000×3名 = 9,000円 @6,200×1名×3学年=18,600円 小計27,600円 10-01 文化交流材料代 8,480円 小計 8,480円 合計36,080円		
②決算内訳		
(5)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(学力・体力⑧) ・ICT機器活用の推進 ・主体的・対話的で深い学びの推進	事務局使用欄	達成
①予算内訳 17-02 授業用パソコン @281,000×1名 =281,000 小計281,000円 10-01 まなボード(A3) @4,800×20個 = 96,000 10-01 ホワイトボード用マーカー 10本入 @500×4色×10箱= 20,000 10-01 ホワイトボード用イレーザー @300×40個 = 12,000 小計128,000円 合計409,000円		
②決算内訳		
(6)取組内容【施策番号 施策名】 【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】(学力・体力⑩) ・スポーツ活動の実施	事務局使用欄	達成
①予算内訳 13-01 1年校外学習(アイススケート)付添教職員利用料 @1,100×3名= 3,300円 13-01 1年校外学習(アイススケート)付添教職員利用料(引率) @200× 4名= 800円 13-01 1年校外学習(アイススケート)生徒利用料 @700× 70名=49,000円 合計53,100円		
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
事務局使用欄は空欄としてください。